

【部課名： 都市政策部土木課 】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
福祉のまちづくり歩道改良事業		歩道の段差等の改善を行い、高齢者及び身体障がい者等に配慮した福祉のまちづくりを推進することを目的として、歩道の段差を改善し、視覚障がい者誘導ブロックを設置する。		指標	総計の現状値	R7実績値	令和３年度から事業を実施し、3箇所の歩道の段差を改善し、77箇所の視覚障がい者誘導ブロックを設置した。	誰もが安全安心に歩道を通行できるよう、引き続き整備を進める必要がある。
総合計画の位置づけ				市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	50.4%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	0	(0)				
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R7決算見込額	1,939	(1939)				
		R8予算額	2,141	(2,141)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
自転車ネットワーク整備事業		歩行者、自転車、自動車を区分し、歩行者・自転車利用者の快適で安全な歩行者・自転車通行空間を確保することを目的として、車道に自転車通行帯を整備する。		指標	総計の現状値	R7実績値	平成28年度から事業を実施し、整備済延長は、森９号線1,060m、助松千原線1,060m、泉大津池浦線1,660m、助松式内線3,060m、南海中央線5,660m、泉大津中央線1,800mの合計14,300mとなった。	交通体系での安全安心に直結する事業として、引き続き整備を進める必要がある。
総合計画の位置づけ				市内の移動を徒歩や自転車で行ってる市民の割合	73.6%	55.8%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	0	(0)				
個別目標の方向性	交通安全のための施設整備と啓発強化を進めます	R7決算見込額	57,730	(51349)				
		R8予算額	47	(0)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
交通安全施設整備事業		市内一円の市管理道路について、安心で快適な道路環境整備を推進することを目的とする。		指標	総計の現状値	R7実績値	泉大津警察署と市内の危険箇所や市民の要望について情報共有することで、迅速に対応することができた。	限られた予算の中で、費用対効果を追求し、いかに効率の良い施設管理が行えるかが課題である。
総合計画の位置づけ				市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	50.4%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち							
		事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	44,600	(44,600)				
個別目標の方向性	交通安全のための施設整備と啓発強化を進めます	R7決算見込額	40,696	(40,696)				
		R8予算額	52,416	(52,416)				

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
放置自転車対策事業		駅周辺道路等における自転車等の放置防止に対する措置を講ずることにより歩行者等の安全な通行と災害時における防災活動の確保を図るとともに良好な生活環境を保持することを目的とする。			指標	総計の現状値	R7実績値	放置自転車対策事業を指定管理者に総合的に行わせることで、事務負担の軽減と住民サービスの向上が図れた。	駐輪場の整備や指定管理者制度の導入により、放置自転車台数はかなり減少してきているが、今後も更に費用対効果を追求し効率のよい放置自転車対策を行う必要がある。
総合計画の位置づけ					市内の移動を徒歩や自転車で 行ってる市民の割合	73.6%	55.8%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち								
個別目標の 方向性		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	13,853	(13,853)					
		R7決算見込額	15,252	(15,252)					
		R8予算額	16,512	(16,512)					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
交通安全教育・啓発事業		交通弱者に対し、交通安全教室・研修会等を通じ交通安全意識の高揚を図る。			指標	総計の現状値	R7実績値	改正道路交通法により、自転車利用者の全世代にヘルメット着用が努力義務化となり、購入費用助成件数も大幅に増加となった。また、自転車利用五則のチラシを全戸配布するなど、自転車のマナー・ルールの周知に努めた。	様々な啓発活動、交通安全教室により交通マナーの向上が図れているが、未だ、多くの方が自転車のマナー・ルールが守れていない方が散見されるため、交通安全啓発等の方法も検討すべきと考える。
総合計画の位置づけ					交通安全教室の開催回数（累計）	24回	28回		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち								
個別目標の 方向性		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	5,040	(5,040)					
		R7決算見込額	2,643	(2,643)					
		R8予算額	3,279	(3,279)					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
道路・法定外公共物明示境界確定事業		道路及び法定外公共物の境界を確定することを目的とする。土地所有者からの公共用地境界確定申請を受けて、現場立会を行い、公共用地境界確定図を交付する。			指標	総計の現状値	R7実績値	公共用地（道路・水路等）と私有地との境界を明確にする「公共用地境界確定申請」に対し、迅速かつ適正な現地立会いおよび測量成果の審査を行い、令和7年度は99件の境界を確定した。	公共用地の境界確定には、過去の公図や測量データの精査、現場の状況に応じた専門的な判断及び地権者との調整等にかかる高度な経験則が必要不可欠である。これまで蓄積された知識や技術を組織内へ確実に継承し、それにより境界確定業務を安定して継続していくことが重要である。
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に 通行できると思う市民	52.9	50.4		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち								
個別目標の 方向性		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	101	101					
		R7決算見込額	216	215					
		R8予算額	168	168					

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み	
道路用地整備事業		市道路敷内に存する個人所有地の権原取得を目的とする。市道路敷内に存する個人所有地の寄附申請に伴い、現地測量し、地積測量図等の登記書類を作成し、市に所有権移転する。			指標	総計の現状値	R7実績値	市道路敷の一部を構成する個人所有地について、寄附受納等により所有権や使用権等の権原を取得した。これにより市道の安定的かつ適切な保全と管理基盤の強化を図ることができた。		当該事業の事務処理には専門的な判断や経験が必要であり、組織内で確実に継承していくことが課題である。道路法の規定により、市道の敷地等について道路管理者が所有権、使用権等の権原を取得することは不可欠な業務であるため、今後も人材育成と体制強化を図りながら、継続して事業を行っていく。	
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民	52.9	50.4				
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち										
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち										
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	事業費（うち市負担額）【千円】									
		R6決算額	616	616							
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R7決算見込額	1,312	1,312							
		R8予算額	2,000	2,000							
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み	
地籍調査整備事業		土地所有者と官民境界の確認を図ることを目的とする。泉大津市公共施設適正配置基本計画に基づき、現地にて立会を行い、土地所有者と官民境界について確認する。			指標	総計の現状値	R7実績値	令和7年度は宮町地区において一筆地調査を実施した。		地籍調査は市域全体の完了に長期間を要することが課題であるが、土地の権利関係を明確にした現地復元性のある地図の整備は、効率的な道路管理や災害時の迅速な復旧に不可欠である。今後は、事務に必要な専門知識の継承を図りつつ、継続して本事業を行っていく。	
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民	52.9	50.4				
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち										
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち										
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	事業費（うち市負担額）【千円】									
		R6決算額	519	180							
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R7決算見込額	6,214	1,594							
		R8予算額	9,735	135							